

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

活動の様子

1. 水生生物観察会の実施

【開催日時】①2024年7月6日（土）、

②2025年7月5日（土）、③7月12日（土）

【開催場所】①③雨晴海岸（富山県高岡市）、②常願寺川河口（富山県富山市）

【参加者数】計132人（①36人、②47人、③49人）

【活動内容・目的】※個別の実施活動の内容を「海の学び」の視点で簡潔に、箇条書きで。

- 魚津水族館とともに海岸や河口など海との関わりが深い場所で観察会を計3回実施した。
- 参加者（児童および保護者）が実際に生物を観察・採集し、専門家による同定や解説を受けることで、生物多様性や海洋環境保全の大切さを学んだ。
- 観察した生物は「日本海海洋生物調査結果データライブラリ」（後述）に登録し、子供たちが研究活動に参加する形で海の学びを体験した。
- 観察会ではライブラリの周知チラシを配布し、観察会後も自主的な学習につなげられるよう工夫したことで、海洋環境や水生生物への理解を深める機会となった。

事前説明の様子



生物の観察・採集の様子



魚津水族館とともに海岸や河口など海との関わりが深い場所で観察会を計3回実施した。参加者は、生き物に直接触れる機会を通じて、自然の豊かさを実感していた。

専門家による解説の様子



参加者（児童および保護者）が採集した生物を、専門家が同定し、生物の分布・特徴等について解説し、生物多様性や海洋環境保全の大切さを学んだ。

ライブラリの周知の様子



ライブラリへの登録

日本海海洋生物調査結果データライブラリ

33観測団体人様日本海沿岸管内センター

地図から探す

一覧から探す

名称から探す

観測イベント

常盤寺川いさものの観察会【川の環境観察会】

主催等	富山県、NPOC（共催）、魚津水産振（協力）	天候	晴	気温	32℃	水温	24℃
調査日時	令和7年7月5日（土）	波高	うねり			流れ	
調査者	小学生とその保護者 47名	透明度		最大水深		調査箇所	
調査実施海岸の名称	常盤寺川河口今川橋付近	海岸の種類	河口部				
所在地	富山県高岡	備考	透明度54cm ハダコトンボ（ヤゴ）、シオカラトンボ（ヤゴ）、ミヤマサナエ（ヤゴ）、アキアカネ（ヤゴ）、ミズカマゼリも生息していた				
緯度・経度	36.755784 137.293276						



マハゼ
全長：5cm



ウグイ
全長：6cm



メナダ
全長：3cm

観察会において、採集した生物は「日本海海洋生物調査結果データライブラリ」（後述）に登録し、子供たちが研究活動に参加する形で海の学びを体験するとともに、ライブラリの紹介チラシを配布・周知し、観察会後も自主的な学習につなげられるよう工夫したことで、海洋環境や水生生物への理解を深める機会となった。

【参加者の声】

- 海岸近くでも生き物がたくさんいることを学んだ。
- 海の生き物の名前や特徴が学べた。ガサガサ（主にタモ網を使って水辺に潜む生き物を捕まえる）をしての生物採集や説明は子供にとって非常に良い経験になった。
- 海の生物の生態系や海岸の環境を守るために今自分たちのできることをしていきたいと思った。川の生物に触れて、生態系を維持したいと思った。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等ではできません。

2. 市民参加型生物情報収集システムの開発及びウェブサイト公開

【開催日時】2024年7月1日（月）～2025年9月30日（月）

【開催場所】NPEC、魚津水族館

【活動内容・目的】※個別の実施活動の内容を「海の学び」の視点で簡潔に、箇条書きで。

- NPEC 及び魚津水族館等がこれまで実施してきた水生生物調査の結果をデータベース化するとともに、登録した生物の情報を表示するウェブコンテンツ「日本海海洋生物調査結果データライブラリ」制作し、公開した。
- 市民に海洋環境・生物多様性の保全に関する意識啓発が図られ、海の学びが促進されるようライブラリの周知を図った。

新たに制作した「日本海海洋生物調査結果データライブラリ」



（トップ画面）



（地図から探す）



（種の説明ページ）

NPEC 及び魚津水族館等がこれまで実施してきた水生生物調査の結果（約3年間分）を生物種・観測イベントごとに体系的にまとめてデータベース化するとともに、登録した生物の情報を表示するウェブコンテンツ「日本海海洋生物調査結果データライブラリ」制作し、公開した。

ライブラリは、市民が活用しやすいように、地図、生物の名称、観測イベントなど様々な条件で検索可能としたほか、観察現場でも活用できるようスマホから容易に閲覧可能なものとした。

紹介チラシ・パネル

魚津水族館でのパネル展示の様子



ライブラリの活用・普及を図るため、ライブラリを紹介するチラシ・パネルを作成し、観察会で参加者に配布するとともに、魚津水族館でパネルを展示し、ライブラリの活用に向け、広く周知を図った。今後、各種イベント等においてチラシ配布、パネル展示を実施する予定である。

これまで市民の目に触れる機会が少なかった学芸員等による水生生物に関する調査研究成果も含めて本システムに収録し、市民が活用することで、市民の海洋環境・生物多様性保全に対する意識の向上が期待される。

【事業全体のまとめ】

サポート事業により、これまで未活用であった観察会で得られた生物の情報や魚津水族館がこれまで実施した水生生物の分布等に関する調査研究の結果を体系的にデータベース化し、市民が活用可能な「日本海海洋生物調査結果データライブラリ」として公開できた。本ライブラリは生き物の写真や分布図を容易に表示することが可能であり、観察会等の現場でも、これまでよりも詳しい解説を行うことができるようになるとともに、観察会の参加後も自主的な学習が可能となり、海岸生物に関する理解を深めることができようになった。

観察会で得られた調査結果を長期的に蓄積することにより、気候変動による海洋生物の分布変動等の研究に役立てられるほか、市民の海洋環境・生物多様性保全に対する意識の向上につながることから、引き続きライブラリの普及・活用に努めていきたい。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 魚津水族館	水生生物調査結果の提供、観察会への職員派遣、パネル展示
2. 富山県（環境保全課）	観察会の共同実施（参加者募集等）
3.	
4.	
5.	

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 北日本新聞	県内の小学生ら海の生き物観察、2024年7月7日
2. 富山新聞	海の生き物探す、2024年7月7日
3.	
4.	
5.	

以上